

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州国際技術協力協会
-----	--------------------

所管課	環境局 環境国際戦略課
-----	-------------

団体に対するミッション
北九州地域に長年にわたって蓄積された広範な環境技術・産業技術と、環境改善の実績を基に様々なツールを活用して、開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、こうした公益事業（国際貢献）を通じて地域の経済発展及び世界の環境首都の都市ブランドの確立に寄与する。

行財政改革大綱における見直し内容
本市及び市内企業等に蓄積された産業技術を基に、海外諸都市の「産業」と「環境」の調和を目指した持続的な発展に寄与するため、今後も、海外からの研修員の受け入れや海外でのものづくりサポートなどの国際技術協力事業を積極的に推進する。 また、同団体が有する国内外のネットワークを活用し、本市及び関係機関等と連携を深め、国際協力さらには国際ビジネスを推進することにより、国際貢献、産業開発と環境保全の調和を目指す。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、本市の経済発展及び環境首都としての都市ブランド確立に寄与するため、研修員の受け入れ及び国際技術協力を積極的に継続する。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
研修員受入数（累計）	8,206人	8,300人	8,676人	8,600人	前年度実績の維持		
技術協力件数 （平成23年度以降累計）	64件	72件	73件	81件			
国際人材情報データベース登録者数 （平成24年度以降累計）	2,086人	2,200人	2,434人	2,450人			

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）

団体における評価	研修業務については、目標を大幅に上回る研修員の受け入れを行うことができた。JICAとの積極的な対話及びそれに基づく当法人からの提案が認められた成果だと考えている。技術協力件数については目標どおりの成果だったが、それ以外にも翌年度事業に結びつく事業を着実に進めている。またデータベース登録者数については、過年度研修員の登録にも努め、目標を大きく上回る登録者数を確保することができた。	市の評価	研修員受入人数、技術協力件数、国際人材情報データベース登録者数の3成果指標全てにおいて、当初の目標を達成できており、団体の取り組みが成果をあげることができたと評価している。
	今後の課題及び見直し内容（案）		これまで培ってきた本市及び市内企業の環境や産業に関する技術を、さらにアジアを中心とした発展途上国に移転するとともに、市内企業の支援に結びつくように積極的に貢献していく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
市やJICA、JETROなどの関係機関と積極的に連携を深めることによって、研修員の受け入れ及び技術協力事業を目標以上に推進することができた。JICAのプログラムを活用した市内中小企業の海外展開支援や、発展途上国の中小企業を対象とした国内研修実施の試みなど、これまで当法人が行ってこなかった新たな枠組みによる取り組みも進めている。	